

令和6年度 内閣府「官民連携による被災者支援体制構築」モデル事業

シンポジウム

災害時の『連携』について考える

—行政、社協、NPOなどつながりの必要性—



「官民連携による被災者支援体制構築」モデル事業。2023年度は、「三重県域」における平時の協働プラットフォームの必要性について学びあい、災害時を想定した平時からの多様な主体の関係性づくり、多様な主体それぞれの専門性の理解の重要性を確認しました。

2024年度は、市民の生活のベースである「市・町」における災害時の連携について学びあいます。県内の市町では各市町でそれぞれの地域性を活かした「連携のしくみづくり」が行われています。そして10月には松阪市にて「どのような官民連携による被災者支援体制を整備していけばよいか」をテーマに研修会を行いました。

市民の1人として、団体として、事業者として、行政として災害時の連携の仕組みづくりにどう関わるか。意見を交わします。

日時 2025年1月18日(土) 13:30~16:30

場所 みえ県民交流センター | 三重県津市羽所町700 アスト津3階
TEL.059-222-5995

参加対象 市民、NPO、地域団体、社会福祉協議会、**定員** 60名
事業者、行政の方、どなたでも



主催：三重県

(連携協力) 社会福祉法人三重県社会福祉協議会、特定非営利活動法人みえ防災市民会議 (企画運営) 特定非営利活動法人みえNPOネットワークセンター

プログラム

▶ 挨拶・趣旨説明

▶ 令和6年度内閣府事業の報告

松阪市「官民連携による被災者支援三者連携モデル研修会」

■堀口 朝美氏(社会福祉法人松阪市社会福祉協議会)

▶ トークセッション

「災害時の『連携』について考える～災害時のボランティアセンターの役割」

災害時にはたくさんのボランティア・NPOが被災した地域に入ります。被災地には災害ボランティアセンターが設置され、ボランティア・NPO、事業者や行政等と連携をした活動が行われています。災害時を想定し、平時から多様な主体と連携しどのような取組みを行うか。4市町の取組みから学びあいます。

■野田 延聖氏(社会福祉法人四日市市社会福祉協議会)

■田中 浩樹氏(社会福祉法人鈴鹿市社会福祉協議会)

■中森 忠司氏(社会福祉法人伊勢市社会福祉協議会)

■名取 雅博氏(社会福祉法人紀宝町社会福祉協議会)

▶ 講演

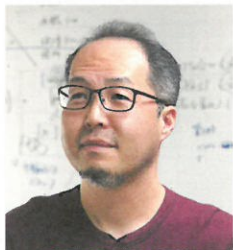
「多様な被災者ニーズ・多様な支援・多様な連携」

■李 仁鉄氏(特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長)

▶ フロアセッション

「わたしのまちの『連携』のしくみづくり」

ゲスト



李 仁鉄氏(特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長)

救急病院に勤務していた2004年に自身が水害で被災したことをきっかけに、以降、にいがた災害ボランティアネットワークに所属し、ボランティアスタッフとして活動を行う。2017年からはNPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長を務める。平時には、研修講師や災害時マニュアルの策定支援を行い、災害時は被災地へ赴き、迅速かつ的確な災害ボランティアセンター設置運営の支援活動やボランティア・市民活動支援、全国のボランティア団体、NPO法人、企業との連絡調整等、多方面で被災地の復旧支援活動に尽力している。

お問合せ

特定非営利活動法人みえNPOネットワークセンター

〒514-0009 三重県津市羽所町700アスト津3階

TEL.059-222-5995 FAX.059-222-5971 Email center@mienpo.net

申込方法

右の二次元コードにあるリンク先からお申込みください。 <https://forms.gle/Q4Z2KLM9FN1CU9P29>

FAX、Email、持参でのお申込みの場合は、下記申込用紙にご記入の上、送付またはご持参ください。

【申込締切】2025年1月14日(火) ※定員になり次第、受付を終了いたします。



名前		所属	
住所		電話番号	
		E-MAIL・FAX	
何で知りましたか	<input type="checkbox"/> ホームページ・SNS <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> 紹介 <input type="checkbox"/> その他()		

本シンポジウムは、令和6年度内閣府「官民連携による被災者支援体制構築」モデル事業の一環として実施いたします。連絡いただいた個人情報は適切に管理し、当センター事業に関する連絡にのみ使用いたします。